

富熊コミュニティ

世代を越えた「人の輪」を

富熊コミュニティでは、若手ボランティアと共に地域交流に力を入れています。今回その一つである夏祭りから、同コミュニティが目指す地域とのあり方を紹介します。

子どもたちと防災学習

少子高齢化や核家族化によって世代間の交流が希薄になっていく中、富熊コミュニティではあいさつ運動や防犯パトロールなどで積極的な声掛けを行っています。また自主防災会では、小学生に理科と防災の知識を深めてもらうため、「子供防災科学クラブ」という体



「子供防災科学クラブ」で電子部品のはんだ付け作業を体験中

験学習会を定期的に行き、親睦を深める活動にも取り組んでいます。

若手と共催で夏祭り

近年、同コミュニティでは若手と共に新たな挑戦をしています。「富熊つなぐ隊」と協力する夏祭



とみくま夏祭りの様子

り企画です。「富熊つなぐ隊」は、子育て世代が中心となって絵本の読み聞かせなど、学校支援を担うボランティア団体です。同団体の提案により企画された夏祭りは、コミュニティの支援もあり、平成30年に実現しました。昨年の夏祭りは地元以外からも多くの学生や家族連れでにぎわったそうです。

子どもたちに好評だったのが、「こわい」

と評判の

お化け屋敷。新型

コロナの

影響で今

年は中止

しました

が、夏祭

りは今後

も続けて

いきたい

と考えています。

若手と楽しむまちづくり

コミュニティ会長の丸尾さんは「コミュニティが昔の盆踊りのように、人が輪になり楽しむ場所になれば」と話します。同コミュニティは世代を越えて「人の輪」が広がるよう取り組み続けています。



富熊つなぐ隊の活躍で年々盛り上がるお化け屋敷



富熊コミュニティ会長 丸尾 良一さん

「コミュニティまつり」と並んで、地域の交流を深めるため、一昨年からは「夏祭り」を実施しています。（今年はコロナのため中止となりました）若い年代の層を中心に企画、運営を図り、夏の風情のページを描くことができました。また、子どもたちの理科離れを防ぎ、科学に関心を持たせるための「子供防災科学クラブ」をはじめ、「富熊つなぐ隊」の名称のもと、さまざまな形で学校支援を行っています。

昨年度策定しました「まちづくり計画」の中では、「健康」をテーマとして掲げ、「健康で笑顔あふれる町」というキャッチフレーズといたしました。地域の自治公民館では、毎週高齢者を中心に「長生き体操」が行われております。当地区は、それぞれの立場で参加いただける全員参加型のコミュニティを目指して進めていきたいと思っています。